

全国に先駆け、 安心して事業者を選べる新たな取組を 開始します！

～横浜発「あんしん」につながる終身サポートの仕組み～

2026年7月28日

市長定例記者会見

1 身寄りのない高齢者の抱える不安や困りごと

「いざという時（病気、事故、亡くなった時など）」に

頼れる親族がいない高齢者は、およそ **10人に1人**

（高齢者95万人のうち、約8.7万人 （R7横浜市高齢者実態調査結果より））

一人で抱える不安や困りごと

○ 入院や施設入所時の身元保証

9割を超える病院や高齢者施設が「身元保証人を求めている」

（R3総務省調査）

○ 日常生活の支援（日々の見守りや各種手続きなど）

○ 死後の手続き（葬儀や納骨、遺品整理など）

身元保証人になってく
れる人がいない。

いろいろな手続きが
一人できるか不安



家族や頼れる人がいればお願いできることが、
頼れる人がいない高齢者にとっては深刻な「困りごと」に。

2 新たな取組が必要となる背景

利用できる民間サービスはあるものの、サービス内容や料金体系が様々で不安も

▶▶▶ 日々の暮らしで感じる不安や困りごとへの対応を、一層充実させていくために
自分に合った事業者を安心して選べる仕組みづくりが必要

【現在の状況】

市民

入院・入所時の身元保証や
日常生活支援への不安や困りごと

自分で事業者を選ぶ必要があるが、
事業者選びが難しい

横浜市

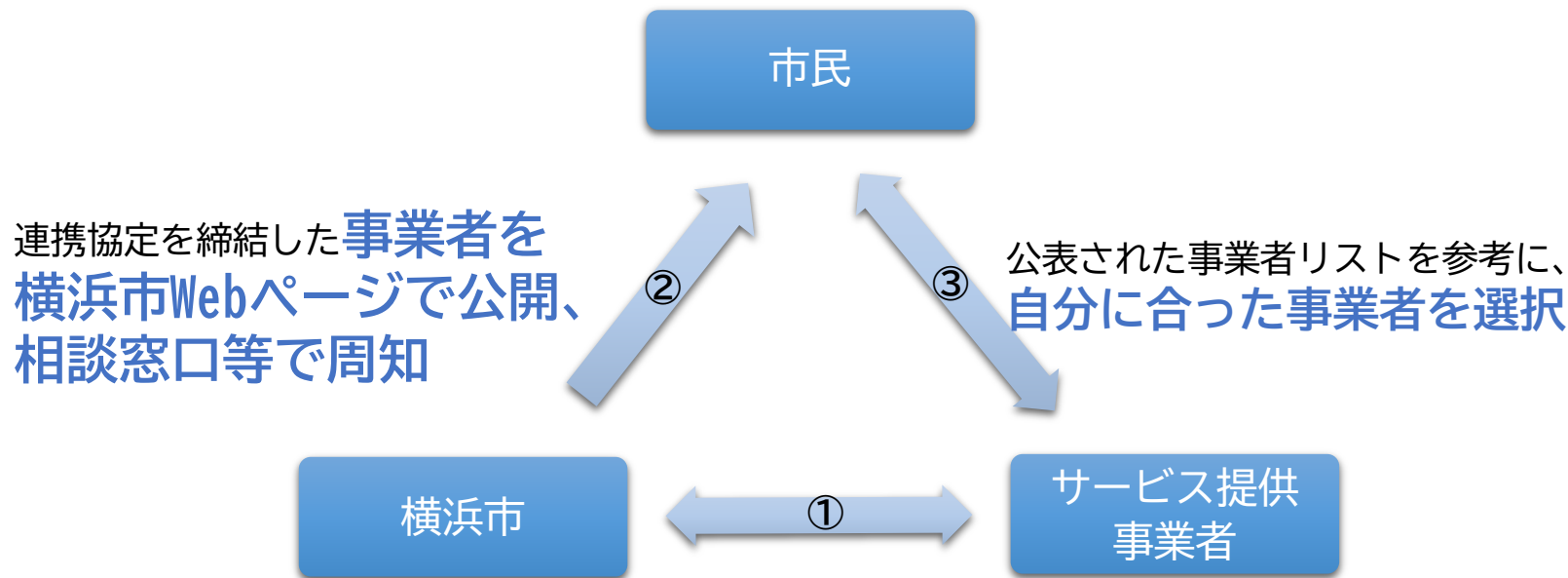
サービス提供
事業者

サービス内容や料金体系が様々

仕組みづくりが必要

3 全国に先駆けた、横浜市独自の「あんしん」モデル

全国的にも先進的な取組で、市民の皆様が、公表されたリストから
「自分に合った民間事業者」を安心して選べる仕組みを整えます。



横浜市独自の基準を策定し、基準を満たした事業者と連携協定を締結

4 “あんしん”を担保する「3つの視点」と「24の基準」～ 横浜市

国のガイドラインをもとに、

横浜市独自の視点を加えた全国初の基準を含めて、計24項目を設定

視点①



《利用者の意思尊重》

(6項目)

- ・ 本人の自己決定の尊重
- ・ 本人意向の定期的な確認
- ・ 相談窓口の設置

等

視点②



《適正な契約の確保》

(12項目)

- ・ サービスと料金の明確化★
- ・ 寄付、遺贈の受領禁止★
- ・ 前払い金等の原則禁止★

等

視点③



《事業者の信頼性確保》

(6項目)

- ・ 財務状況の確保★
- ・ 事業継続体制の確保★
- ・ 利益相反の禁止

等

(★は本市独自視点を含む基準。青字は全国初の基準)

5 横浜市独自基準導入による効果

独自基準	主な課題	新たな横浜「あんしん」モデル
寄付、遺贈の受領禁止 全国初	○寄付や遺贈が契約の条件とされるおそれがある ○寄付や遺贈が優先され、利用者に寄り添ったサービス提供が損なわれるおそれがある	○利用者の意思尊重 ○利益相反の防止
前払い金等の原則禁止 全国初	○前払い金等の必要性や金額の妥当性が分かりにくい ○預けた資金の管理や返還等に関する問題が生じる可能性がある	○契約の透明性確保 ○利用者の財産保護
サービスと料金の明確化	○サービス内容と利用料金の関係が分かりにくい ○利用料金の妥当性を判断しにくい	○契約の透明性確保 ○料金の分かりやすさ向上
財務状況の確保 事業継続体制の確保	○倒産などでサービスが受けられなくなるおそれがある	○サービス提供の継続性確保

6 今後のスケジュール

本日～9月 事業者公募開始

12月下旬 事業者リスト公開

→市民の皆様はリストを参考に安心して事業者を選ぶように

身寄りや頼れる人がいなくても、
高齢者の皆様が安心していきいきと暮らし続けられるまちを目指します。

